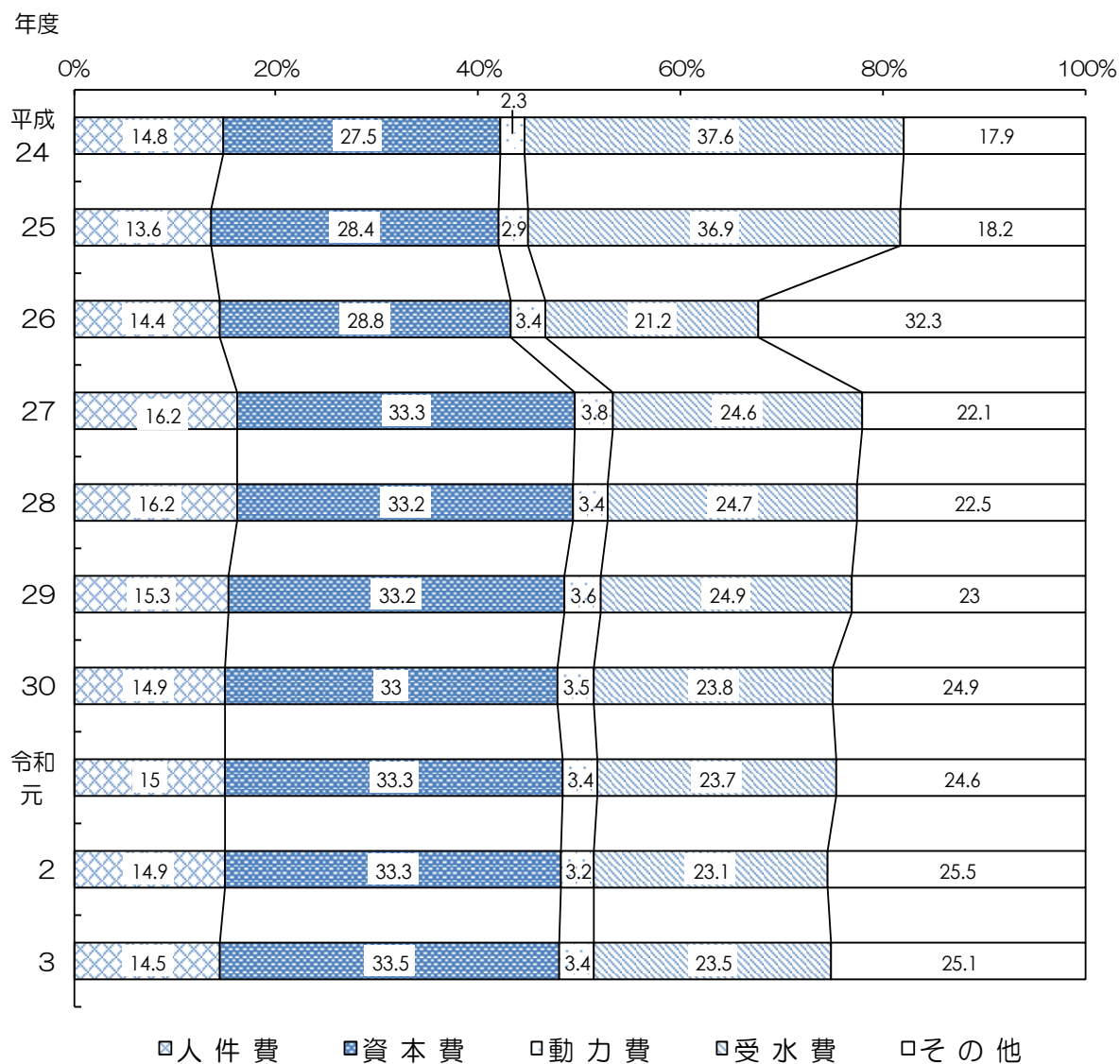


(2) 費用構成

構成費用は近年、ほぼ横ばいになっている。なお、平成 30 年に受水費が若干減少しているのは企業団用水供給料金の変更に起因していると考えられる。(図一八)。

図一八 費用構成（上水道）



※資本費＝支払利息＋減価償却費

一方、費用の推移を見ると、有収水量1 m³当たりの費用は平成13年度の186.65円をピークとして減少傾向にあったが、新公営企業会計制度の影響もあり、平成26年度は170.99円（総務省通知による算出式）と急増した。平成27年度以降はほぼ横ばいとなっている。

これを費用内訳別に平成24年度を100とした指数で表すと、令和3年度の人件費は平成24年度の28.4円に対して22.8円で指数80となり、資本費では平成24年度の46.7円に対して42.8円で指数91となっている（表-12）。

表-12 上水道給水原価に占める費用内訳の推移（有収水量1 m³ 当たり）

年度	人件費		資本費		動力費		受水費		その他		合計	
	金額	指数	金額	指数	金額	指数	金額	指数	金額	指数	金額	指数
24	28.36	100	46.67	100	4.65	100	39.68	100	37.99	100	157.36	100
25	25.51	89	47.03	100	5.75	123	38.33	96	40.51	106	157.13	99
26	26.16	92	41.83	89	6.19	133	38.46	96	58.35	153	170.99	108
27	25.41	89	42.07	90	5.96	128	38.61	97	34.98	92	147.03	93
28	25.06	88	41.27	88	5.30	113	38.37	96	34.28	90	144.28	91
29	23.75	83	41.43	88	5.51	118	38.59	97	34.67	91	143.95	91
30	23.25	81	41.10	88	5.48	117	37.10	93	37.96	99	144.89	92
令和元	23.46	82	41.91	89	5.36	115	36.96	93	37.29	98	144.98	92
2	23.16	81	41.69	89	4.95	106	36.00	90	38.95	102	144.75	91
3	22.81	80	42.82	91	5.34	114	37.07	93	37.13	97	145.17	92

（指数は、整数値で切捨て）

※左欄は有収水量1 m³ 当たりの額（単位：円）

※右欄は平成24年度を100とした場合の指数

※資本費＝支払利息＋減価償却費－長期前受金戻入相当額